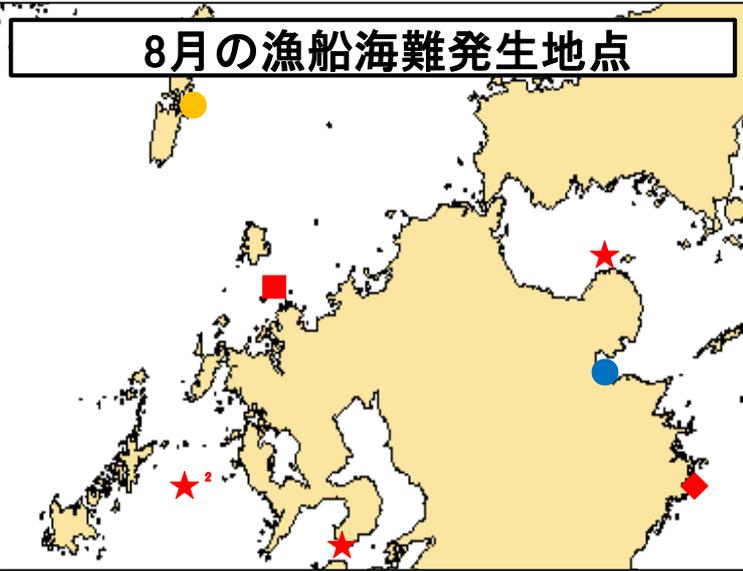


令和5年8月発生
七管内漁船海難 計8隻

令和5年 累計 55隻 (前年53隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ **2隻増加**

漁船海難隻数 (速報値)		県別内訳	
		8月	令和5年累計
衝突	★ 4	山口県 0	6(7)
乗揚	● 1	福岡県 0	8(15)
浸水	● 1	佐賀県 1	2(7)
運航不能 (機関故障)	■ 1	長崎県 4	31(19)
運航不能 (無人漂流)	◆ 1	大分県 3	8(5)
合計 8隻 (昨年 6隻) 死亡、行方不明者: 0名		合計 8隻	55隻 (53隻) (〇は昨年同月)



累計死亡・行方不明者数 3名 (令和5年8月末日現在)

衝突・乗揚事故に注意

第七管区管内では、令和5年は8月31日までに55隻の漁船海難が発生しており、その内、**衝突・乗揚げ海難が20隻と3分の1以上を占め**、20隻の衝突・乗揚げ事故の原因をみると、見張り不十分(8隻)、操船不適切(4隻)、居眠り(2隻)、船位不確認(1隻)、その他(5隻)となっています。

見張りの徹底・早めの回避

航行中、操業中を問わず、「見張りをしていなかった」「相手船が避けてくれると思った」などを起因として事故が発生しています。常時適切な見張りを行い、船の接近を感じたら早めに回避しましょう。

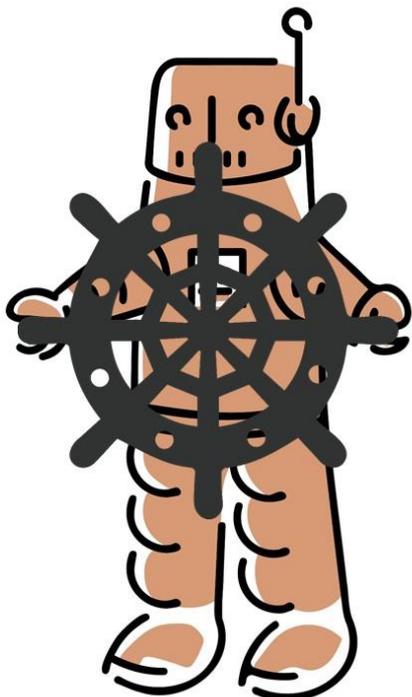
絶対ダメ！居眠り

航行中の居眠りは事故のリスクを大幅に高めます。眠気を感じた場合には、「換気」「体を動かす」などの対策をとりましょう。

正しく使おう自動操舵

自動操舵装置は、見張りに専念するためのもので、他船を回避する機能はありません。自動操舵使用時に、居眠りや他の作業を行えば、見張りが疎かになり、事故に繋がります。自動操舵使用時にも常時適切な見張りを行いましょう。

私、自動操舵装置ハ
見張りガ
デキマセン。



秋季安全推進活動期間

自動操舵装置は「見張りに専念するため」の装置です。適切に活用し、安全のために常時見張りをお願いします。

